

鳳仙

発行
桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話〇二七三三二一一一七七

お正月を迎えて「時の流れ」

住職 坪井 良廣

「あれ、もうお正月…」
一年過ぎるのが何と早くもたつたように。歳をとるほど、時の流れには加速度がついてくるといふ。時が早く過ぎるのと同じく、見えないはずの車のよつなあのものがひそんでいて、時の車輪がますます速く回転するうちに、気づかぬうちに、お正月を迎えるのは想像してしまいます。もういっしょにお正月、と正月を待ち遠しく思うのは子供の特権なのでしょうか。幼い頃は時の流れがゆくり流れていたように思います。



愛親寛羅 溥佐作

午年

十二支の七番目で、動物では馬、一日では昼の十二時とその前後、一年では夏至のころ、方位では南に対応させる。

馬に纏わる故事・諺で思い浮かぶのは、「人間万事塞翁が馬」、「土佐高知

城主・山之内一豊の妻の物語」そして、後世手紙文の粹とされた「一筆啓上、火の用心、お仙泣かすな、馬肥やせ」など枚挙に暇がないが、今年《午》が万事ウマクいくことを願います。

新しい年には厄除け

鳳仙寺では、毎年厄除けを一日から五日まで行っています。今年は大々的に四日は大祭として行います。お檀家の方は「厄除けは菩提寺で受けましょう。厄除けは、郵送での申込みやインターネットでの受付も始まっていますので、宜しくお願いいたします。

鳳仙婦人会だより

婦人会スローガン
ひろげよう 信じよう
美しい心のふれあい
基本テーマ
まごころに生きる

私たち婦人は「ひろげよう 信じよう 美しい心のふれあい」のスローガンのもとに一年間の計画を立て、まごころに生きる曹洞宗婦人会の会員として、毎日精進しております。
四月二十九日に平成十四年度総会を行います。入会希望の方は役員さん又はお寺まで申込み下さい。

1月1日から5日まで

開運 厄除け 大祭

除夜の鐘

桐生山鳳仙寺

群馬県桐生市梅田町1-58 TEL.0277-32-1177

又十月二十一日「除夜の鐘」です。十一時より恒例の「甘酒」の接待をいたします。古いお札や縁起物がありましたらお持ち下さい。前庭にておたき上げ致します。除夜の鐘は十一時三十分より、撞き初めます。皆様お誘いあわせのうえ、お詣り下さい。

	後厄	本厄	前厄
男の大厄	42才	昭和35年生	36年生
女の大厄	37才	40年	41年
男の大厄	33才	44年	45年
女の大厄	33才	44年	45年
男の25才の厄年	52年	53年	54年
女の19才の厄年	58年	59年	60年
幼児4才の厄年	平成10年	11年	12年
男女61才の厄年	昭和15年	16年	17年

13才前年・男女平成2年生れ

新年あけましておめでとございませう。

（会長） 都 筑 由 紀 子
（副会長） 峯 崎 由 子 坪 井 み は と

（書記） 石 原 茂 子 星 野 歌 子
（会計） 栗 原 政 江 金 子 芙 美 子
（会計監査） 岩 崎 キ イ 子 金 居 延 子

御詠歌だより
毎月第一、第四木曜日
週二回、一時から三時まで
で鳳仙寺石梁閣にてお稽古をしております。
緊張した中にもゆつくりとした時が流れます。
その後の茶話会は本当ににぎやかです。
始めの方は、お寺まで...

感謝録

大太鼓一式 天笠勝美
表参道大石柱 水沢石材

謹賀新年

世話人 東 洋 一 桑原金吉
（会計） 池 田 伊 佐 男

住職 坪 井 良 廣

筆頭総代 下 山 晴 夫

総代 小 此 木 秀 夫
太 田 亨 文
長 沢 弘 一 郎
石 原 竹 雄
池 田 伊 佐 男

天笠勝美 小林詔一
石原信子 小林当二
板井政夫 五味田博
板倉光夫 清水義男
岩崎信作 下山直二郎
岩崎親道 下山博康
内野正章 館盛治
梅沢守夫 津久井祿治
大里政由 都筑治雄
岡村栄三 長沢吉太郎
小川廣夫 中島正雄
金丸由太郎 長谷川孝元
金子清 羽田野孝次郎
金子宗吉 平方敏郎
金子恒雄 前原高男
木島富美雄 峯崎一男
桐生高治 山鹿精一
桑子三喜男 「あいっえお順」

高祖道元禪師750回大遠忌

団参研修旅行



「大遠忌とは？」
 平成十四年(西暦2002)は、わが国に曹洞禅(そとうぜん)を伝えられ、大本山永平寺をお開きになった道元禪師さまがお亡くなりになられたから、七百五十年目にあたります。仏教の各宗では、宗祖(しゅうそ)や中興(ちゆうこう)の祖の五十年忌以後に、五十年ごとにその遺徳

弘(ひろ)めよ(め)よ(よ)慕古(もこ)の(この)ころを世界へ

高祖道元禪師(こうそだうげんぜんじ)七百五十回大遠忌(だいおんき)...

「いとく」を慕って大規模な報恩の法要を営むのを常とします。これが大遠忌です。曹洞宗はいま五十年にただ一度だけめぐりくるこの大遠忌を期して、道元禪師さまの偉大なみ教えを改めて学び、このみ教えに連なることに誇りをもち、このみ教えを二十一世紀の世界に弘(ひろ)めるべく、全宗を挙げて始動しました。そして大遠忌の聖業のスローガンとして「慕古(もこ)の(この)ころ」を掲



雨降り地藏

私たちにとって、もつとも親しまれている仏様は、お地藏様です。お地藏様は、街の中にも、村のはずれにも、山の中にも立ち、雨の日も風の日も私たちをじっと見守ってくださいます。

お地藏様

仏様の中で、もつとも人々に親しまれているお地藏様は、お坊さんの姿をしており、街の中を歩くと、お坊さんを見かけます。お地藏様は、お釈迦様がなくなつてから、五十六億七千万年の後に弥勒菩薩さまという

のような所で苦しむ悩む者を救い続ける願いを持っておられます。五十六億七千万年といえ、気の遠くなるような長い期間です。ほとんど永遠に悩み苦しむ者を救い続けると考えて良いでしょうか。

切り地藏」など数えきれないほど多くの名前がつけられ、私たちの生活になじみ深い仏様として親しまれてきました。鳳仙寺の墓地の入り口に六体並んだお地藏様があります。これを「六

お地藏様はあらゆる場所、あらゆる姿に変わつて悩み苦しむ人々を救つて下さるのです。ですから、「いほ地藏」「雨降り地藏」「水子地藏」「子育て地藏」「延命地藏」「しあわせ地藏」とげぬき地藏」「日



六体地藏

で苦しんでいる者を救つてくださるのがお地藏様です。お地藏様は六体並んでいてもありま

お一人のときは、ほとんど「錫杖」を持ち立つておられます。これは苦しむ者がこの「錫杖」の音を聞いて、「お地藏様が助けに来てくださつた」と知り、はげまされたのです。また、お地藏様は苦しむ者を見ると、どこへでも、すぐに助けに行けるようにと、錫杖を持つて街角や村の辻々に立つておられるのです。

切り 4/10

大本山永平寺にてご法要予定しています。14:00~

平成14年5月16日(木)~5月18日(土)2泊3日
 (含・本山志納金)
 旅行代金 お一人様48,000円
 2泊3朝食・3昼食・2夕食付和室利用

定員になり次第締切りますのでお早くお申し込下さい。

「全行程貸切り観光バスです、お荷物の心配はございません。なるべくお宅近くまでお送ります」

【行程】

5月16日(木)友引
 桐生5時 伊勢崎IC
 佐久(途中休憩3~4回) 上越JCT 富山・金沢(車中にて昼食ますの寿司) 大本山・永平寺14時~ご法要 加賀やましろ温泉(山下家)17時
 5月17日(金)
 ホテル9時 丸谷焼窯元・日本海水産(お買物)
 東海北陸HW 世界遺産白川郷(見学・昼食) 御母衣湖 荘川 飛騨高山(高山グリーンホテル)17時30分
 5月18日(土)

平成十四年度年回表

一周忌	平成十三年
三回忌	平成十二年
七回忌	平成八年
十三回忌	平成二年
十七回忌	昭和六十一年
二十二回忌	昭和五十五年
二十五回忌	昭和五十三年
二十七回忌	昭和五十一年
三十三回忌	昭和四十五年
三十七回忌	昭和四十一年
四十三回忌	昭和三十五年
四十七回忌	昭和三十一年
五十回忌	昭和二十八年
百回忌	明治三十六年

日曜・祝日の御法事お申込みはお早めをお願いします。

